

野菜作りと大学生生活を両立しています（静岡市）

R8.7.13訪問



お名前	松岡 遥斗さん
就農した時期	2019年8月（就農7年目）
栽培品目	なす、ピーマン、はくさい、ばれいしょ、かんしょ、ほうれんそう、とうもろこし、他
栽培面積	70 a（露地野菜）
販路	直売所、スーパー、飲食店等
働き手	本人、家族



■ 就農したきっかけ

幼少期から、農家だった祖父が自宅の庭先でも野菜作りをしていたことから農業に親しんでいました。農業高校入学後、緊急事態宣言で休校になった時間を活用し、知人の土地を借りて本格的に農業に取り組み始めました。今も大学に通いながら、農業に取り組んでいます。

■ 栽培方法

なす、ピーマン、はくさいを主軸に、季節野菜など多品目を一年中栽培しています。ばれいしょ、かんしょ、とうもろこしなどは食育活動として、こども園・幼稚園や児童福祉施設等と連携した農業体験に活用しています。

■ 技術習得のため学んだ機関や学校等

農業の基本は祖父の家庭菜園や地域の農業者から学びました。

■ 生産、経営、販路等に関する課題

鳥獣害が多い地域であり、狩猟免許を取得して、ワナや猟銃を使った狩猟をしています。昔に比べてシカが増えてきているため、処理に時間と手間がかかっています。

■ 今後取り組みたいこと

大学卒業後、専業農家になるか兼業農家になるかを検討しています。専業農家になるなら、野菜以外の栽培にも興味があります。



認定こども園での収穫体験の様子（ご本人提供）